

まちの話題

ISA City Topics



わくわく！新一年生



4月5日、伊佐地区交通安全事務局で伊佐市の小学校新1年生の代表者5人に交通安全グッズ（黄色帽子とランドセルカバー）が贈られました。5人は「交通ルールを守ります」と元気よく宣誓しました。

交通安全グッズは、各学校を通じて新1年生195人全員に贈られます。

子どもたちの安全な通学にご協力をお願いします。

新たな冬のアウトドア



3月16・17日、布計小学校跡地と十曾キャンプ場でテントサウナ体験イベントが開催されました。

地域おこし協力隊の林峻平さんの呼びかけに、全国各地から約50人が集まり、参加者はテントサウナで体を温めた後、外気浴や川遊びを楽しみました。また、社会福祉法人慈和会から食材が提供され、素材を活かした伊佐の料理を堪能しました。

野草・薬草を食べて、おいしく健康に

3月23日、さつま町・伊佐市の観光地域づくりを行うDMO(株)やさしいまちが曾木発電所遺構展望公園で「第2回野草薬草フェスティバル」を開催しました。

会場では野草・薬草を使った天ぷらやだご汁、お茶などが振る舞われたほか、野草・薬草クイズに挑戦するイベントなどが行われました。

坂元正照社長は「このイベントを通して、体によい野草・薬草に親しんでほしい」と話されました。

また、22日には鶴田ダムナイトが開催され、来場者はダムに投影された幻想的なデジタルアートの世界を楽しみました。



山坂達者の子どもを育てる



4月4日、転入教職員着任式が菱刈環境改善センターで行われました。

市内の小・中学校と市教育委員会に赴任した69人の教職員を代表して、秋葉裕士教諭（菱刈中）が宣誓文を読み上げました。

転入教職員にはJA北さつまと大口酒造から伊佐特産品が贈呈されました。

みんなで食べるとおいしいね！



3月24日、羽月の長福寺で「いさこども食堂」が開かれ、地域の子どもたちにカレーや豚汁が振る舞われました。食材の多くは寄付されたものです。主催した楠元彩子さんは「活動にたくさんの協力がいただけて本当にありがたい。今後は活動の場所を広げていきたい」と話されました。

地域医療の担い手として期待

4月3日、伊佐市医師会立准看護学校の入学式が大口ふれあいセンターで行われました。56期生の14人が、2年間学び准看護師の資格取得をめざします。新入生を代表して赤迫瑞希さんは、「患者に寄り添う医療人になりたい」と決意を述べました。



火災から救助し、消防から感謝状



3月20日、伊佐湧水消防組合から大口宮人在住の宮ノ原正輝さんへ感謝状が贈られました。宮ノ原さんは2月2日、大口宮人で発生した火災に気づき、現場に駆け付けて119番通報。高齢男性が屋内に残っていることを知り、炎上する建物に入って救助しました。また、屋外に避難していた家族も安全な場所へ誘導しました。

贈呈式で前田消防長は「命を顧みず迅速に行動された。今後もその精神でご活躍されてほしい」と話されました。

心を込めたおもてなし



4月12日、伊佐農林高校で春の農林館祭りが開催されました。

農林高校生が各専攻の実習で育てた野菜苗や花苗、鶏卵や黒豚肉のほか、更生之素やフルーツジャムなどの加工品を販売し、買い物客の長蛇の列ができました。農林館祭りは、準備、接客、交通誘導を生徒が行い、会場には高校生の元気な声が響きました。